

芙蓉総合リース株式会社
代表取締役社長 辻田泰徳
東京都千代田区麴町 5-1-1

米国における「ESG配慮型集合住宅開発事業」への参画

～住友林業グループが組成する不動産開発私募ファンドに出資～

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 辻田 泰徳、以下「芙蓉リース」）は、住友林業株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 光吉 敏郎、以下「住友林業」）が100%出資する米国の子会社 Crescent Communities, LLC（ノースカロライナ州シャーロット、CEO Brian Natwick、以下、「Crescent 社」）が組成する米国不動産私募ファンド（以下「本ファンド」）への出資を通じて、「ESG配慮型集合住宅開発事業」へ参画いたします。

本ファンドは、成長著しい米国サンベルト*1の有力な都市圏において、賃貸集合住宅4件（総戸数1,000戸、資産規模約700億円）の新規開発プロジェクトをターゲットとしたプログラムです。住友林業の米国子会社であり現地で多数の開発実績がある Crescent 社が企画、開発、運用を担当。LEED*2やNGBS*3などの環境認証や、入居者の健康配慮に関する Fitwel 認証*4を取得するなど、環境・地域社会に配慮した集合住宅として開発を行います。



- *1 サンベルト／米国南部のカリフォルニア州からノースカロライナ州に至る、北緯 37 度線以南の温暖な地域を指す。
ハイテク産業，航空・宇宙産業，レジャー産業などの先端的産業が発展している。
- *2 L E E D 認証／U S G B C (US Green Building Council) が開発及び運用を行っている、建物と敷地利用についての環境性能評価システム。
- *3 N G B S (The National Green Building Standard) 認証／米国国家規格協会が唯一、環境配慮型の戸建住宅や集合住宅の評価制度として認めている認証。
- *4 Fitwel 認証／米国連邦政府調達局 (G S A) と疾病管理予防センター (C D C) が主導で開発された建物利用者の健康や労働環境に配慮したデザインや管理運用を認証する仕組み。

芙蓉リースグループは、国内外で住宅開発事業を手掛ける住友林業グループが企画・開発する本ファンドへの参画により得られた知見をもとに、不動産分野におけるビジネス領域の拡大を進めてまいります。今後も、社会課題の解決に積極的に関与し、同時に企業としての成長を目指す C S V (共有価値の創造：Creating Shared Value) の考えを実践し、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

以上

お問い合わせ先

芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室 (担当) 木村・山崎
電話番号 03 (5275) 8891 URL <https://www.fgl.co.jp/>